

(社)日本詩人クラブ例会・イベント 2015年2月

第34回 詩のサロン

日時 2月12日(木) 18:00~20:00
(会費500円)

会場 日本詩人クラブ事務所

内容 「中原道夫の世界」(最新詩集およびエッセイの鑑賞)

ゲスト：中原道夫氏



中原道夫氏



中原道夫氏による講演は、「アイロニー」と「喩」というものを詩作の根底に据えた興味深いお話

でした。氏は、詩作は絶対に自分の体験から出なければだめだと説きます。そして、詩作にとって、

リズムがいかに大切かということ。今回の講演では、自作詩の他に、草野心平、相馬大、北川

冬彦、菊池貞三、山本みち子、といった詩人各氏の作品にも触れ、詩というものの醸す
味わいに

ついて、ユーモアを込め語っていただきました。

とくに、奥様を亡くされて間もなく書かれたという「雪の朝」「保険金」の二作品
は、読者のひとりと

して、気持ちに沁み入るものがありました。参加者は、24名。盛会でした。

(長谷川忍・記)

2月例会

日 時 2月14日(土) 14:00~17:00

会員・会友無料 一般500円

会 場 東大駒場キャンパス21KOMCEE・レクチ

ャーホール

京王井の頭線「駒場東大前」下車。東大正
門直進徒歩4分。建物エレベーター1FよりB1へ

例会終了後、隣接のMMホールで交流会

(懇親会)があります。会費3,000円

朗読&スピーチ 岩重美江氏(川崎市) 薄井清美氏

(西東京市) 西野りーあ氏(板橋区)

講 演 『母、そして詩人 高田敏子』 講師・久富純江

氏



司会 長尾雅樹氏 (左) 安川登紀子氏(右)



岩重美江氏 (詩の朗読&スピーチ)



薄井清美氏（詩の朗読&スピーチ）



西野りーあ氏（詩の朗読&スピーチ）



久富純江氏（講演）



高田敏子氏写真（久富純江氏所有）



竹内美智代氏（講演進行役）



山本みち子氏（高田敏子作品朗読）



柳生じゅん子氏（高田敏子作品朗読）



「野火」同人の皆さんと



懇親会風景

2月例会のメイン講演は、詩人で、故、高田敏子氏の長女でもいらっしゃる久富純江氏による

『母、そして詩人高田敏子』。娘の立場から見た高田敏子氏の、生活と日常に焦点を当てたお話

でした。講演途中、会場のスクリーンには久富氏所有の高田敏子氏の若き日から晩年までの写

真が多数紹介され、会場に詰めかけた方たちの眼を奪っていました。

同人誌「野火」を主催して以降の高田氏は、多忙を極めたそうですが、詩を書きたいという氏の

熱意が、自身の詩作、ひいては「野火」での息の長い活動に繋がっていったのでしよう。久富氏の

お話は、分かりやすく、親しみの持てるものでした。講演の進行役は、竹内美智代氏が担当。

会場には、「野火」の同人でいらした諸氏が遠方からも駆けつけ、さながら同窓会的な雰囲気

醸していました。会場には100名近い方々が集いました。、高田敏子氏の人気の高さをあらためて

実感した次第です。

(長谷川忍・記)

